

旭化成ホームズ株式会社

<http://www.asahi-kasei/co.jp/hebel/>
〒160-8345 東京都新宿区西新宿1-24-1(エステック情報ビル)

ポウ　　ウ
トン坊が生まれた



もり
『あさひ・いのちの森』は、
ざいだんほうじんとしりよくかきぎん
財団法人都市緑化基金の
せいぶつたようせいほぜん
「生物多様性保全につながる
きぎょう　みどり　せん
企業の緑100選」に
えら
選ばれました。

AsahiKASEI
旭化成の住まい



1008D

あたららしい森

もり

あさひ・いのちの森



あたららしい森(もり)

あさひ・いのちの森

あたらしい^{もり}森

くん ボウ きみ せいぶつたようせい
ラム君とトン坊と君と生物多様性



^{じゅうたく}
ロングライフ住宅。
ハーベルハウス

おくじょう しょくぶつ みず

屋上の植物に水やりをするのは、ラム君の仕事です。

くん しごと

うわー
トマトが
赤く育って
おいしそうだ

『ラムくん、ラムくん』
ラム君をよぶ声がします。

「え、だれ？」

びっくりしてあたりを見まわしても
誰もいません。

ぼく ボウ
「僕だよ、ぼく、トンボの『トン坊』っていうんだ」
こえ めし うえき
声の主は、トマトの植木にとまったトンボでした。

くん ぼく たす
「ラム君きのう、僕を助けてくれたでしょ」
さいきん み
「うん、最近あんまりトンボとか見なかったから、
つかまえちゃかわいそうかなって・・・」
れい もど
「ちゃんとお礼がいたくて戻ってきたんだ」



「僕、近くにできた『あたらしい森』で生まれたんだ」

「あたらしい森？」

「うん、いろんな生き物がいて、田んぼだつてある。

とっても住みやすいよ」

「行ってみたいな、そのあたらしい森」

「助けてくれたお礼に、見せてあげるよ」

あたらしい
森？



レーナクサーチ レーナクサーチ レーナクサーチ

トン坊がそういと、みるみるうちに目のまえの

トン坊が大きくなるではありませんか！

「今のおまじないで、君が小さくなったんだよ」

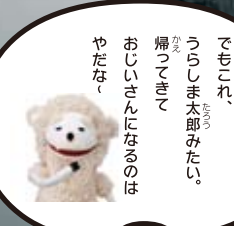
「ほんとだ、トマトもでっかい！」

わわっ！



ちい
小さくなったラム君をせなかに乗せると、
ボウ おくじょう
トン坊は屋上からひらりとまいあがりました。

うわー
すごいや！
飛んでる！



ちゃんと
つかまってる！



くんのポウ
ラム君を乗せたトン坊は

かぜと
風をきって飛びつづけました。

もりなまえ
「あたらしい森の、ほんとうの名前は

もり
『あさひ・いのちの森』っていうんだ」

すごく、
いい景色だ！

ほら！
ここが
僕が生まれた
『あさひ・
いのちの森』だよ



このひとときわ大きな木が生えいているところは、
昔植えた木が育ってりっぱな森になっている。

ここは環境保全林といって、
22種類の木を植えてある。

小川には、ホタルの幼虫も
たくさん生きているよ。

水辺には、カモもやってくるし、
昆虫や魚、カエルもいっぱいいる。

草地にはノシバをはって、
ススキやチガヤが
生えるようにした。

ここは湿地。
近くの沼から土を運んで、
つくったんだ。

これは「田んぼ」。
いろんな生き物が住めるし、
秋には稲刈りしてお米がとれる。

森の道には、ゴミになった木材を
細かく砕いてしいてあるんだよ。

このあたりはぜんぶ雑木林。
エノキやムクノキなど、
21種類の木が植えられている。

このうねっているのは、
田んぼと池をむすぶ水の道。

このあたりも環境保全林。

「あちひ・いのちの森」
には、雑木林や小川や池、
湿地帯や田んぼまである。
だから、僕たち
トンボだけじゃなく、
いろんな生き物が、
森の成長を
願っているんだ。

うわー
すく
広ー
いや！



ぼう う もり
トン坊が生まれた『あさひ・いのちの森』は、
へーベルハウスをつくらしている会社が、
いえ けんきゅうじょ
家づくりのための研究所をつくる時に、
い もの く しぜん もど
たくさんの生き物が暮らせる自然をとり戻すために、
けいかくてき もり
計画的につくったあたらしい森なんだ。



『あさひ・いのちの森』をつくる時は、
きんじょ す ひと きょうりょく
近所に住んでいる人たちも協力して、
き なえ う
木の苗をたくさん植えてくれたよ。
しやくしょ もり つか
市役所からは、森づくりに使える
ざりょう わ
材料を分けてもらったりしたんだ。



『あさひ・いのちの森』に木の苗を植えるとき、
まわ ちいき き しら
廻りの地域の木のことをよく調べて、
むかし おな しゅるい なえぎ う
昔と同じような種類の苗木を植えたんだ。
もともとその土地にあった自然のすがたを
こわ
壊さないようにするということだね。



『あさひ・いのちの森』に植えた木の苗は、
そうきばやし そだ
りっぱな雑木林に育っているよ。
むし さかな う
いろんな虫、ホタルや魚も生まれているし、
わた どり
渡り鳥もやってくるようになった。
た
田んぼでは、毎年秋にお米が採れるんだ。



くん いえ おくじょう ぼう
ラム君の家の屋上に、トン坊がやってきたのは、
『あさひ・いのちの森』とラム君の屋上が、
つながっているということなんだ。
みんな たまご う いけ
皆も、トンボが卵を産めそうな池をつくったり、
ちょうちょうがだいすきな はな しょくぶつ そだ
チョウチョウがだいすきな、花や植物を育てれば、
どんどんつながっていくよ。



きみ く
君をふくめ、みんなが暮らしているってことは、
しぜん えいきょう かなら
そのための自然への影響は必ずあるってこと。
だから、みんなでその影響を少しでも減らすため
きょうりょく だいじ
協力することが大事だよ。

くん
ラム君がやっている、
おくじょう うえき みず
屋上の植木の水やりだって、
こうどう
りっぱな行動といえる。



きみ とう かあ はたら
君のお父さんやお母さんが働いている
みせ かいしゃ かつどう
お店とか、会社が活動しているときにも、
おな しぜん えいきょう かなら
同じように自然への影響は必ずある。
えいきょう すこ へ
その影響を少しでも減らすための
かつどう みせ かいしゃ
活動は、すべてのお店や会社に
もと
求められていることなんだ。



こんなふうに、
ちきゅうじょう せいぶつ い
地球上のいろんな生物が、ちゃんと生きていけることを、
「生物多様性(せいぶつたようせい)」っていうんだ。
くん ぼう きみ い
ラム君もトン坊も、君も、みんなつながって生きているんだよ。
しぜん えいきょう おお きみ にんげん
だから、自然への影響がいちばん大きい君たち人間が、
いきもの しぜん まも ふくげん
たくさんの生物がつながった自然を守り復元する、
せきにん も
いちばんの責任を持っているということになるね。



『あさひ・いのちの森』からの帰り道、
あたらしくできた家の庭で、
トン坊とラム君は一休み。



「この家の庭、木も土も石もあるね」
「住んでいる人はもちろん過ごしやすいし、
ぼくたち生き物も住みやすいんだ」



あたらしい森をつくった経験は、
あたらしい家づくりにも
活かされている。
上手に自然を取り入れる工夫で、
家で暮らす人はもちろん、
庭の植物や生き物も、
皆が一緒に快適に暮らせる
「ロングライフ住宅」だ。



ゆうがた くん いえ かえ
夕方、ラム君の家に帰りました。

「たのしかったよ、トン坊」

もり なえぎ
「森の苗木、おみやげにあげる」

おくじょう う
「ありがとう、屋上に植えるよ」



バイバイ！

さようなら！

おみやげ
玉手箱じゃ
なかった

レーナクキーオ

レーナクキーオ

レーナクキーオ

ラム君はもとの大きさにもどりました。

くん おくじょう みず わす
「ラム君、屋上の水やり忘れないで」

ポウ げんき
「トン坊も元気で！」

